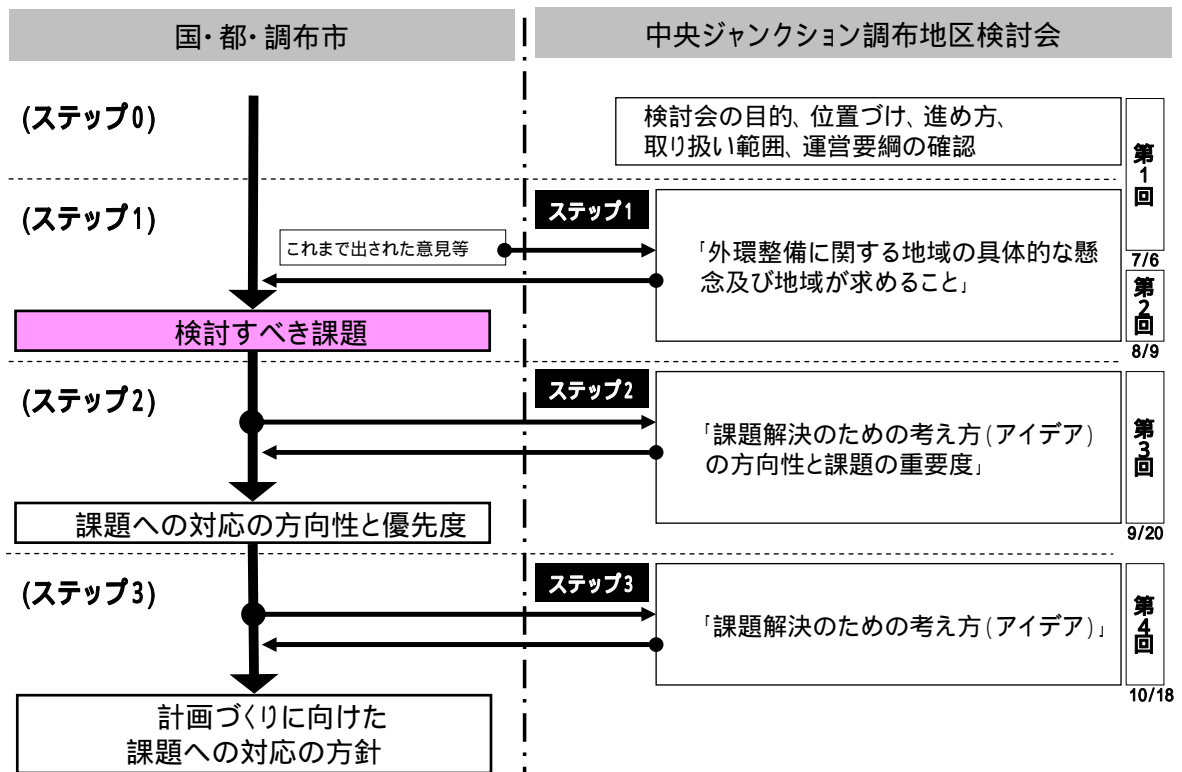


## ステップ 1-2

### 検討すべき課題

- ・ 「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の意見の趣旨を踏まえて、主催者が外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した課題を交通、環境などのテーマで分類しまとめたものです。





## 中央ジャンクション調布地区検討会

## 検討すべき課題

## 【本資料について】

- ・この『検討すべき課題』は、中央ジャンクション調布地区検討会においてステップ1の成果としてとりまとめられた『外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること』を受けて、主催者が整理したものです。
- ・地区検討会で頂いた懸念や期待について、主催者である国・都・市が、外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した内容を示しています。

中央ジャンクション調布地区検討会 主催者

(国土交通省・東京都・調布市)

中央ジャンクション調布地区検討会

『検討すべき課題』 目次

1. 交通	1
(1) 地区交通	
(2) 幹線交通	
2. 環境	2
(1) 大気質	
(2) 騒音・振動・低周波音	
(3) 地下水	
(4) 動物・植物・生態系	
(5) 緑の量	
(6) 環境一般	
3. まちづくり	6
(1) まちづくり全般	
(2) 地域分断	
(3) 土地利用	
4. 安全・安心	8
(1) 交通安全・治安	
(2) 災害・事故時の対応	
5. 工事中	9
(1) 工事中の交通への影響	
(2) 工事中の環境への影響	
(3) 工事中の安全性	
6. 用地・補償	11
7. 計画検討の進め方	12
(1) 計画検討全般	
(2) 意見反映	
(3) 情報の提供	

# 1. 交通

## (1) 地区交通

### 【検討すべき課題】

- ・生活道路を通り抜ける交通が増え、住宅街での渋滞の発生や住環境が悪化するのではないかと懸念
- ・生活道路を含めた地域の利便性が向上することへの期待

#### ○関連する意見の例

- ・外環の整備にあわせて、吉祥寺通りや三鷹都市計画道路 3・4・11 号線の整備も進めないと、生活道路へ進入する通り抜け車両が増加してしまう。
- ・外環の計画に合わせて、東八道路を計画どおりに完成させないと、周辺の道路で渋滞が発生し、交通利便性が悪くなるとともに、周辺の生活環境が悪化(大気汚染、騒音・振動、交通事故)することが心配である。
- ・吉祥寺通りに関しては、三鷹都市計画道路 3・4・11 号線とつがると、その部分で渋滞が発生して、地域の生活道路の利便性や生活環境が悪くなる。
- ・工事中の工事車両や、供用後に東八道路 IC を利用する車が、地域の生活道路へ流入することを懸念する。
- ・三日月地域から中央自動車道の反対側(三鷹市方面)への行き来がしやすいように、外環の整備と合わせて、生活道路網を充実させてほしい。

## (2) 幹線交通

### 【検討すべき課題】

- ・吉祥寺通りや東八道路、東八道路インターチェンジ周辺などの交通量が増加することによる道路混雑についての懸念
- ・周辺道路の整備が遅れた場合の交通処理についての懸念
- ・東八道路を中心とした周辺の道路網を早期に整備し、東八道路インターチェンジへの利便性を確保することへの期待

#### ○関連する意見の例

- ・外環の周辺道路について、外環の整備後は、現在の交通量に、インターチェンジを利用する車両が加わり、さらに渋滞する。
- ・吉祥寺通りと三鷹都市計画道路 3・4・11 号線をつなげると、交通量が多くなり、渋滞が発生して交通利便性が悪化することが心配である。
- ・外環の整備に時間を要するので、周辺の都市計画道路の整備にも時間がかかるのではないかと懸念。交通利便性の改善が遅れることが心配である。
- ・東八道路の延伸整備が、外環の開通に間に合わなかった場合、渋滞が発生するのではないかと心配である。対応策を検討すべきである。
- ・地域の交通利便性を向上させるために、東八道路の未整備部分を、早く完成させてほしい。
- ・調布市民などが、東八道路 IC を多く利用して、その整備効果を高めるためには、東八道路 IC にアクセスしやすい地域道路網の形成が重要である。
- ・外環と甲州街道(国道 20 号)とのアクセスが重要である。両道が直結しないのであれば、甲州街道(国道 20 号)と東八道路 IC 間をスムーズに連絡できるように、道路整備を行うことが重要である。

## 2. 環境

### (1) 大気質

#### 【検討すべき課題】

- ・中央ジャンクション、東八道路インターチェンジ、周辺道路及び換気所などから発生する排気ガスによる大気質への影響についての懸念
- ・換気所の高さや性能についての懸念
- ・換気所の故障時の対応への懸念

#### ○関連する意見の例

- ・中央 JCT 周辺の地域は、外環がほとんど地上に出ており、大量の排出ガスが出て、大気汚染がさらに進むのではないかと心配である。
- ・2ヶ所の換気所から出る排出ガスの影響によって、持病の喘息が悪化することが心配である。
- ・外環に2箇所設置される料金所での渋滞時に、大量に出る排出ガスによる影響(臭気、健康被害)が心配である。
- ・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑でアップダウンも激しいため、アクセルを踏む回数が増えて、その分、排出ガスの排出量が多くなるのではないかと心配である。
- ・外環や周辺の都市計画道路から出る排出ガスの影響によって、特に息子の症状が悪化するのではないかと心配である。
- ・周辺には換気所だけでなく三鷹市環境センター(三鷹市の処理施設)もある。外環と三鷹市環境センターとを総合的に評価した場合の大気汚染など、環境に関する生活への影響を知りたい。
- ・この地域は崖線など起伏に富んでおり、緑ヶ丘小学校周辺は空気がたまりやすいようで、小学校に通っていた当時は光化学スモッグ注意報が出ていた。特定の地域によっては、環境影響評価で示されている数値よりも、大気が汚染されるのではないかと心配である。
- ・換気所からの排出ガスは、風がないときにはこの地域の周辺で澱んでしまい、拡散しないのではないかと心配である。
- ・換気所の高さが、予想していたよりも低かったため、周辺への影響がないように排気できるのかという懸念がある。
- ・換気所から放出される排出ガスが、生活に悪影響を及ぼす。換気所をつくってほしくはないが、つくるなら高さをもっと高くして、排出ガスが拡散するようにしてほしい。
- ・換気所の高さが 15mと低く、十分に排気が拡散するのか懸念がある。データ上は十分に排気を拡散でき、景観にも配慮したとのことだが、不安は拭えない。
- ・外環の換気計画では、ジェットファンでトンネル内の空気を換気所へ導くとのことだが、きちんと機能するのか心配である。
- ・換気所での排出ガス処理に関する計画や機械の性能が十分であるか不安である。換気所の故障時に、排出ガスによって大気への影響が大きくなる心配がある。

## (2) 騒音・振動・低周波音

### 【検討すべき課題】

- ・換気所から発生する騒音や振動、低周波音による影響についての懸念
- ・中央ジャンクション周辺地域での騒音や振動による影響についての懸念

#### ○関連する意見の例

- ・換気所で発生する振動や騒音を心配している。
- ・換気所で発生する低周波による健康に与える影響を懸念している。換気所が低いとより影響があるのではないか。
- ・外環の計画に合わせて、東八道路を計画どおりに完成させないと、周辺の道路で渋滞が発生し、交通利便性が悪くなるとともに、周辺の生活環境が悪化(大気汚染、騒音・振動、交通事故)することが心配である。
- ・緑ヶ丘 1 丁目の中央自動車道の近くに住んでいるが、中央自動車道の車の走行音が気になる。外環が開通したら、騒音の影響が心配である。
- ・三日月地域には築後 30～40 年の老朽化した家屋が多いため、外環の工事中や開通後の振動による影響が心配である。

## (3) 地下水

### 【検討すべき課題】

- ・地下水の変化による地盤沈下についての懸念
- ・地下構造物による地下水や湧水への影響についての懸念
- ・生活用水や非常用として利用している地下水などへの影響についての懸念

#### ○関連する意見の例

- ・外環の整備により、仙川の水循環に影響が生じ、地下水が変動することによって、地盤沈下が発生しないか心配である。
- ・大深度トンネルなどによる地下水への影響を心配している。
- ・「環境影響評価のあらまし」で、地下水を遮断しない対策として「地下水流動保全工法」が紹介されているが、通水部を設けても、地域全体の水脈の流れが乱れるのではないかと心配である。
- ・外環の地下化によって行うシールド工法は、地下に堤防を作るようなものであり、浅層地下水に影響が出るのではないかと心配である。
- ・トンネルを掘ることで、水脈や水質、湧水への影響があるのではないかと心配である。特に、緑ヶ丘小学校の脇に、水道局の取水所があり、水道水への影響が心配である。
- ・災害時に利用できることになっている白百合女子大学の湧水が枯れてしまわないか心配している。
- ・この地域には湧水がある。自宅の井戸の水位は降雨後などで変わり、水脈は常に変化している。外環の整備によって、水脈や湧水に影響が出るのではないかと心配である。

#### (4) 動物・植物・生態系

##### 【検討すべき課題】

- ・地域の植物への影響についての懸念

○関連する意見の例

- ・緑ヶ丘小学校脇の「みんなの広場」は、金蘭、銀蘭が自生している貴重な場所である。外環の整備や都市計画道路等の変更によって、自生環境に影響が及ばないようにしてほしい。

#### (5) 緑の量

##### 【検討すべき課題】

- ・調布都市計画道路 3・4・17号線の整備により仙川崖線緑地など地域の緑地が減少しないかとの懸念
- ・中央ジャンクションや東八道路インターチェンジの環境施設帯の緑地が確保されるのか懸念

○関連する意見の例

- ・仙川崖線緑地の雑木林は、子供たちにとっても貴重な自然である。その場所に、調布都市計画道路 3・4・17号線が整備されて、既存の環境が壊されることを心配している。調布都市計画道路 3・4・17号線の計画を変更して、仙川崖線緑地を保全すべきである。
- ・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑なので、ランプの合流地点の見通しをよくするために、設計を進める段階で、現在よりも開削部の面積が広がるのではないかと思う。その場合、排出ガスの漏れ出す量が増えたり、緑地の面積が減ることが心配である。

## (6) 環境一般

### 【検討すべき課題】

- ・PM2.5など現在の環境基準で定められていない項目に関する懸念
- ・環境施設帯など緑地の適切な管理がなされるかに関する懸念

#### ○関連する意見の例

- ・換気所からの排出ガスによる大気汚染が心配である。環境影響評価で、世界的な環境基準のPM2.5が採用されていないことが心配である。
- ・環境施設帯の緑化後に雑草が生い茂り、住民に草刈りなどの負担が生じることが心配。環境施設帯の植栽は、関係者側で適切に管理してほしい。



### 3. まちづくり

#### (1) まちづくり全般

##### 【検討すべき課題】

- ・ 地域の人が交流できる憩いの場の創出への期待

##### ○関連する意見の例

- ・ 今後は車の交通量が減り、自転車や歩行者の移動を十分に考慮すべき時代である。都市計画道路を整備する際には、自転車・歩行者道(片側 4m)を、できる限り確保してほしい。
- ・ 中央自動車道の下には、お祭り等の場にもなるわんぱく児童遊園という場所がある。外環の整備においても、地域に開放されるコミュニティ施設などの設置を期待する。

#### (2) 地域分断

##### 【検討すべき課題】

- ・ 緑ヶ丘地域コミュニティの分断への懸念
- ・ 吉祥寺通りが分断されて、歩行者やバスの利便性が低下するのではないかと懸念。
- ・ 三日月地域内の生活道路の機能が確保されるのかとの懸念。
- ・ 通学路が分断されるのではないかと懸念

##### ○関連する意見の例

- ・ 外環の整備により、三日月地域を含む緑ヶ丘の自治会は分断されてしまう。
- ・ 三日月地域の住民は影響が大きいということはなんとなく理解しているが、具体的な情報は共有できていない。賛成・反対というわけではないが、住民同士で計画内容についての議論があり、その対立がきっかけで人付き合いなどがうまくいかなくなり、引越した人もいるようだ。こういったことでコミュニティ活動が低下するのではと心配である。
- ・ 外環や都市計画道路によって、地域が分断されて行き来する機会が少なくなるなど、近所づきあいが疎遠なるのではないかと心配である。また、緑ヶ丘小学校の通学路の交通安全も心配である。
- ・ 三日月地域は、地域分断などの問題が発生し、地域に残る人たちの生活が大変になるのではないかと心配である。
- ・ 三日月地域内に行き止まりの道路ができると、地区内の移動にも支障が生じるので、行き止まりにならないようにしてほしい。
- ・ 仙川沿いの道路、中央自動車道の側道などの日常的に利用している道路がなくなるのではないかと懸念している。
- ・ 三日月地域にある自宅からは、自転車で仙川駅に行きにくい。外環が整備されることにより、生活動線が分断され、さらに自転車で移動しにくくなるのが心配である。
- ・ 都市計画道路の整備により、地域のバス路線が変わらないか心配している。吉祥寺通りのバスルートを、現状のまま残してほしい。
- ・ 都市計画道路と既存の生活道路がうまく接続されるのか心配している。
- ・ 三日月地域が孤立することに懸念がある。三日月地域が孤立しないように、この地域につながる道を確保してほしい。
- ・ 吉祥寺通りは、この地域のメインストリートであり、バス路線にもなっている。この道路が分断されるのが心配である。今までどおりに利用できるように、外環の計画地を利用して、迂回させる工夫を検討し、残るようにしてほしい。
- ・ 三日月地域に住んでおり現在の住環境はとてもよい。工事中や外環供用後、仙川駅方面や天神山通り方

面の道路が分断されて通れなくなるのではないかと心配である。

- ・通学路が分断されることを懸念している。三日月地域から緑ヶ丘小学校への通学路を確保してほしい。

### (3) 土地利用

#### 【検討すべき課題】

- ・東八道路インターチェンジ周辺の開発による土地利用の変化についての懸念

○関連する意見の例

- ・インターチェンジができると、周辺に商業施設などが建設されて、この地域の田園風景が一変してしまうのではないかと心配している。

## 4. 安全・安心

### (1) 交通安全・治安

#### 【検討すべき課題】

- ・環境施設帯が人目の届かない空間となることによる治安悪化への懸念
- ・仙川沿いの道路などの生活道路の交通量が増え、交通事故が増加するのではないかとの懸念

#### ○関連する意見の例

- ・武蔵野狛江線と仙川沿いの道は、ひったくりが発生しており、外環の環境施設帯や側道等において、犯罪が発生することが懸念される。外環の整備にあたっては、防犯に配慮した適切な植樹や街灯の設置を十分に検討してほしい。
- ・環境施設帯は、無人の広大なオープンスペースである。目の届かない死角ができたり、夜間の防犯、治安の面が心配である。
- ・外環の整備により、三日月地域の仙川沿いの道路へ流入する通過交通がさらに増加し、危険である。対策を考えてほしい。
- ・三日月地域では、課題解決の優先順位が非常に重要である。まずは、生活道路への通過交通抑制のために、車の侵入規制など、安心して住める地域にすることである。それが担保された上で、緑等の環境の保全・創出を考えていくのが順序である。安全なくして、環境の保全・創出はありえない。
- ・外環の整備により、三日月地域の仙川沿いの生活道路への通過交通が更に増加し、危険である。宅急便の車や自家用車のみを通行可能にするなど、三日月地域の住民の安全な生活が補償されるような仕組みを、行政は提案するべきである。
- ・中央 JCT 周辺の生活道路は、農道のままの狭い道が多い。ここに東八道路 IC へアクセスする車両が入り込んで危険になるのではないかと心配である。
- ・三鷹都市計画道路 3・4・11 号線、調布都市計画道路 3・4・17 号線は、東八道路 IC と甲州街道(国道 20 号)方面を行き来する車の交通量が多くなると思う。緑ヶ丘小学校が近くにあり、交通安全対策について検討されているか心配である。
- ・本来生活道路であるはずの仙川沿いの道路は、現状でも交通量の多い抜け道となっている。この道が分断されることで通過交通が生活道路に流入し、安全性や治安が損なわれることが心配である。

### (2) 災害・事故時の対応

#### 【検討すべき課題】

- ・トンネル内での火災や地震など災害時の対応や避難方法に関する懸念
- ・ランプ合流部における交通の安全性についての懸念
- ・周辺道路の整備における雨水処理に関する懸念

#### ○関連する意見の例

- ・トンネル内で車が炎上した場合、煙の換気や周辺への排気はどのように対処されるのか不安を感じる。トンネル内の避難路などの事故対策を示してほしい。
- ・外環での交通事故などによる火災などの影響(爆発炎上、煙など)が、周辺地区に及ぶことが心配である。
- ・外環を地下化して、地震時など最悪な事態が生じたときの安全性は確保されているのか心配である。
- ・外環のランプの構造は複雑であるため、合流地点等で交通事故が起きる懸念がある。
- ・緑ヶ丘団地仙川アパートの敷地は、仙川を挟んだ対岸(仙川駅側の敷地)よりも 3m 程度低い。仙川を横断する調布都市計画道路 3・4・17 号線が、団地の敷地よりも高いところに道路面が整備された場合、雨水などが流れ込むのではないかと心配である。

## 5. 工事中

### (1) 工事中の交通への影響

#### 【検討すべき課題】

- ・生活道路に工事車両が流入することへの懸念
- ・三日月地域の生活道路や吉祥寺通りなどの工事期間中の交通機能の確保についての懸念

#### ○関連する意見の例

- ・中条橋の横の道は、道幅が狭い上、現在でも交通量が多い。工事中は更に交通量が増えて道路の混雑や歩行の安全が心配である。
- ・外環の工事では、多くの工事車両が周辺地域に出入りし、生活道路に入り込むのではないかと心配している。
- ・工事中、三日月地域が孤立することを懸念している。仙川沿いの道路に代わる迂回路を確保してほしい。
- ・工事中に吉祥寺通りが分断されることにより日常生活が不便になるのではないかと懸念がある。迂回路をつくる際に、吉祥寺方面に通じる機能を確保してほしい。

### (2) 工事中の環境への影響

#### 【検討すべき課題】

- ・工事に伴う大気質、騒音・振動、粉塵等による環境への影響についての懸念
- ・工事に伴う日照・通風の影響についての懸念
- ・工事に伴う地盤沈下についての懸念
- ・仙川横断部の施工方法についての懸念

#### ○関連する意見の例

- ・工事期間中に、土砂の搬出のために計画地に入出入りするトラックによって、騒音、振動、狭い道での交通事故などが発生することを心配している。
- ・家のすぐ近くで工事が行われるため、工事の振動、騒音、粉塵に大きな懸念がある。工事期間が長期に渡るのであれば、耐えられないのではないかと懸念している。
- ・三日月地域はもともと沼地であったため、地盤が弱いと聞いている。工事が長期間に渡れば、振動などによって家が傾くなどの影響が出てくるのではないかと懸念している。
- ・工事中の粉塵により、日常生活(洗濯物干し、空気の入替えなど)へ悪影響が及ぶ。
- ・工事車両からの排出ガスによる大気への影響、健康への影響が懸念される。
- ・中央 JCT の工事中は、外部に騒音や粉塵が漏れないようにするため、三日月地域の周辺に要塞の様に高い塀を建てることになり、日照や風通しに影響が出るのではないかと懸念している。
- ・三日月地域には、旧仙川の用地が宅地になっている場所があり、地盤が緩い。そのため外環の工事や開通後の振動によって、地盤沈下が発生することが心配である。
- ・仙川は、地上部分から開削工事をする区域に含まれているため、堰き止められてしまうのではないかと心配である。

### (3) 工事中の安全性

#### 【検討すべき課題】

- ・ 工事における通学路や生活道路の安全性の確保についての懸念
- ・ 工事の安全対策に関する懸念

#### ○関連する意見の例

- ・ 三日月地域から緑ヶ丘小学校までの通学路が外環の工事中に分断されるため、遠回りになり、子供たちが安全に通学できなくなる心配がある。
- ・ 緑が丘小学校へは、北野小学校や給田小学校の校区から越境児童も通っている。また、三日月地域は、多くの児童の通学路となっている。このような実態も踏まえ、工事中も含めた通学路の確保と交通安全対策が実施されることを期待する。
- ・ 外環の工事車両が、甲州街道(国道 20 号)から生活道路に入り込むと危険である。
- ・ 中央 JCT 周辺の生活道路は、農道のままの狭い道が多い。ここに工事車両が入り込んだ場合、安全に歩けなくなるのではないかと心配している。
  
- ・ 外環の工事中に、事故(落盤など)が発生すること懸念している。安全対策をしっかり実施してほしい。

## 6. 用地・補償

### 【検討すべき課題】

- ・移転先の確保や補償などへの懸念
- ・地権者への用地補償についての分かりやすい説明や丁寧な対応がなされるのかとの懸念

#### ○関連する意見の例

- ・三日月地域は分断されてしまい、進入道路がなくなったり変更されると、資産価値が想像以上に下落するのではないかと。
- ・計画によっては、自宅の処分を検討する必要があるため、三日月地域を含む用地買収などの予定を示してほしい。
- ・生産緑地は、外環の事業化の段階で指定解除される。生産緑地の一部が計画地にかかる場合、その減少分で指定要件の500㎡を下回れば、同じく指定解除されてしまう。生産緑地が指定解除されると、それまで優遇されていた税金を過去にさかのぼって支払わなくてはならないので心配。
- ・計画地にかかって立退きの対象となっている住民は、生活が破壊されるのではないかと心配している。
- ・外環の整備により、三日月地域は分断され、孤立してしまう。十分な話し合いを行い、買い上げなどの方策を検討してほしい。
- ・緑ヶ丘地区は高齢者も多く、今後の移転先や用地補償などの不安を抱えている。行政側の対応は個別対応であり、結果それぞれがひとりで悩んでいる。外環の計画地に関する高齢者の心のケアが心配である。不安をとりのぞき、精神的に孤立しない工夫をしてほしい。
- ・三日月地域の高齢者は、この土地で長く生活しており、移転によって新たな環境に入るのは大変な負担となる。一概に、一斉移転がよいとは言い切れないのではないかと。

## 7. 計画検討の進め方

### (1) 計画検討全般

#### 【検討すべき課題】

- ・人口動向等を踏まえた将来の交通需要に合った計画となっているのかとの懸念
- ・環境影響に関する調査が不足しているのではないかと懸念
- ・三日月地域の課題に真摯に取り組むことへの期待
- ・外環が早期に整備されることへの期待

#### ○関連する意見の例

- ・人口減少や原油価格の高騰などを踏まえると、外環の完成時の交通需要予測が、当初の見込みと違ってることが想定される。そのため外環のアクセス道路となる都市計画道路の計画について見直す検討が必要である。
- ・社会情勢によって、外環や都市計画道路の計画が変化している。
- ・環境影響調査は、公共地のみで実施しているので信憑性が薄い。事業化する場合は、地域へどのような影響を及ぼすのか、私有地も含めた適切なポイントで、環境に関する調査を実施すべきである。
- ・三日月地域の課題をどのように解決するかによって、事業の進め方が変わってくる。三日月地域の課題について、真摯に取り組むことを期待する。
- ・三日月地域では、課題解決の優先順位が非常に重要である。まずは、生活道路への通過交通抑制のために、安心して住める地域にするということである。それが担保された上で、緑等の環境の保全・創出を考えていくのが順序である。
- ・今後の生活設計のことや年齢的なことを考えると、早期実現を望んでいる。

### (2) 意見反映

#### 【検討すべき課題】

- ・地区検討会での意見が計画に反映されるのかとの懸念
- ・市長の意見書等が尊重されるのかとの懸念
- ・地域の意見を聴く相談窓口などの設置への期待

#### ○関連する意見の例

- ・検討会で出された懸念にきちんと対応して、外環および周辺の工事に伴う騒音の削減や、道路の安全の確保のための対応策を検討してほしい。
- ・検討会で出された意見などについて、何を、いつ、どのように計画へ反映するのかを、具体的に示していくべきである。市民は、今までも具体的な懸念や課題は出しているが、それらがどのように扱われているのかわからない。
- ・三日月地域に関する市長の答申の結果を尊重してほしい。
- ・外環の整備に関する、専用の市民の相談窓口を市役所に設置してほしい。

### (3) 情報の提供

#### 【検討すべき課題】

#### ・地域住民への十分な情報提供への期待

##### ○関連する意見の例

- ・外環を利用中(特にトンネル内)に、事故などが発生した場合の非常時の避難方法などについて、情報を事前に提供してほしい。
- ・トンネル内の本線とランプの合流部上部の居住者(図面のオレンジ部分)は、土地家屋等の補償対象かどうか工事方法に左右されるため、不安な生活が続いている。一刻も早く、補償されるのかなど、具体的な対応策を示すべきである。
- ・生活設計ができないので、外環の事業の開始時期および期間を教えてください。
- ・工事車両の通行は、地域の交通、環境、安全に影響がある。工事車両の経路、1日あたりの通行台数、駐車場所などを詳細に説明してほしい。
- ・外環全体や周辺のアクセス道路の整備などに関するこれまでの取組みや整備の進捗状況、今後の見通しなどの情報がわからないことが心配である。自治会などを通して、外環の整備などに関する情報の提供や説明会を行ってほしい。
- ・40mより浅い部分の地上では、どのような影響が生じるのか気がかりである。